

## L P ガス C P 情報(2016年3月積み)

### 1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 290<sup>ドル</sup> (前月比+5<sup>ドル</sup>)

ブタン 320<sup>ドル</sup> (前月比+5<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が乱高下するなか、LPガススポット市況も上げ下げを繰り返した。春節休暇明けの第3週には産ガス各国のアクセプタンスも通知され、供給潤沢で値を下げたが、第4週には、原油の反騰と堅調な需要、フレートの軟化により引き合いが強まり、CP先物が急反騰、ディスカウント市況であった極東CFR市況も上昇した。ナフサは原油市況に連れ軟化後反騰、月初の350<sup>ドル</sup>から一時280<sup>ドル</sup>まで下げたが、第4週には340<sup>ドル</sup>まで戻した。月間平均では320<sup>ドル</sup>、前月比25<sup>ドル</sup>の続落。バンカーオイルは、堅調に推移し月間平均では149<sup>ドル</sup>、前月比横ばいとなった。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が減少し、先月から続騰、20日にはプロパン200<sup>ドル</sup>、ブタン240<sup>ドル</sup>まで戻し、第4週は更に上げている。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は原油市況に追随、第3週末には反落しプロパン220<sup>ドル</sup>、ブタン250<sup>ドル</sup>どころ。需要低迷でアープ玉のキャンセルも。

3月CPは前年同月比プロパン210<sup>ドル</sup>、ブタン140<sup>ドル</sup>のそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン13ポイント、ブタン15ポイント下落。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	44	44	44	36	44
CP先物指標：P	285	285	270	295	284
CP先物指標：B	315	315	310	330	318

#### ② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは2月31<sup>ドル</sup>台でスタートしたが、世界的な経済減速による需要減退懸念と供給過剰(OPEC、非OPECともに増産)による需給不均衡が拡大、全米原油在庫、クッシング在庫も過去最高水準に達したため11日には26.21<sup>ドル</sup>まで下げたが、サウジ、ロシア、カタール、ベネズエラ4カ国による合意(1月生産水準で凍結：足並みそろえること条件)を受け、懐疑的な見方があるながらも期待で急反騰、第4週末には33<sup>ドル</sup>前後に戻している。石油掘削リグ数が減少し米国原油生産量も減少傾向が続き、IEAが2017年に需給はバランスすると中期レポートで発表していることも好感されたが、供給超過で上値は重い展開。

一方、NYMEXのWTI総取組高は26日時点で178万枚、前月末比3万枚の減少。大口投機玉の買越残高は23日で20.6万枚と前月比横ばい。売建玉が急増後急減、手仕舞われた。

○2月積みアラビアン・ライト(2月1~26日)は28.90<sup>ドル</sup>(前月比+3.22<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン236.95<sup>ドル/トン</sup> ブタン233.70<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン122.39% ブタン136.93%

\*上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

### 2. 2016年3月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	117.81	33,900	37,400	-4,000	-5,000
26~25日②	116.86	33,600	37,100	-4,100	-5,000
1~29日③	116.08	33,400	36,900	-4,200	-5,100

\*TTS平均は①が1月21日~2月20日まで、②は1月26日~2月25日

③は2月1~29日、①、②、③ともに3月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。